

令和4年度第1回我孫子市放課後対策事業運営委員会 議事録

○日 時 令和4年6月24日（金）午前9時30分から午前11時まで

○場 所 我孫子市消防本部 大会議室

○出席者 <委員>

山田和夫（委員長） 鈴木伸樹（副委員長） 佐藤哲康 井上瞬 坂場一夫

小垣外はるひ 樋樫智子 太田悟 佐藤知以子 山田恭生（代理）

深谷幸子 大西基 古高すま子 石井美文

<放課後対策事業スタッフ コーディネーター>

清水かほる 野口知美 池上真千子 大塚美香子

事務局：子ども支援課 高橋晃 藤縄あい 楠瀬尚城 十川奈緒子

- \* 議事録作成のための録音許可について
- \* 傍聴について
- \* 委嘱状・辞令交付（辞令は省略させていただきます）
- \* 資料確認

1. 委員長あいさつ
2. 委員自己紹介及び事務局紹介
3. 本委員会の任務及び令和4年度年間スケジュールについて
4. 我孫子市における放課後対策事業について
  - (1) 我孫子市における放課後対策事業について
  - (2) 令和4年度の検討事項について
    - あびっ子クラブの閉室時間について
    - あびっ子クラブの開室日について
    - 学童保育室・あびっ子クラブの民間委託について
5. 学童保育室・あびっ子クラブの運営報告について
  - ・第二小学校の近況
  - ・第三小学校の近況
  - ・湖北台西小学校の近況
  - ・湖北台東小学校の近況
6. その他

## 1. 委員長挨拶

### 【委員長】

それではただいまから令和4年度第1回我孫子市放課後対策事業運営委員会を開催いたします。設置要綱に基づきまして、この委員会の委員長を務めさせていただきます、子ども支援課長です。よろしくお願いいたします。

改めまして挨拶をさせていただきます。本日は大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。また皆様には日頃から子ども・子育て支援の各分野においてご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、本運営委員会も昨年一昨年と書面での開催になっておりました。今年度は3年ぶりの対面での開催となります。今後2回ほど予定をしておりますが、この後の状況によって、またそこで開催方法について判断したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

後ほど事務局の方からも連絡がありますが、この新型コロナは放課後対策事業においても様々な影響をもたらしました。またあびっ子クラブは平成19年にモデル事業としてスタートして15年が過ぎようとしています。

コロナの影響だけに限らず様々な変化を求められる時期だと思っております。この委員会におきまして、皆様方のご意見をいただくことは大変貴重な機会であると考えております。どうぞ忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、まずは挨拶とさせていただきます。

## 2. 委員自己紹介及び事務局紹介

【委員長】本日の委員の出席については14名となっております。今回1回目の委員会となりますので、簡単に自己紹介をしていただければと思っております。副委員長の学校教育課長から時計回りでいきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【副委員長】学校教育課長でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【委員】市連協会長です。よろしくお願いいたします。

【委員】サポーター代表ということで湖北台西小と湖北台東小で活動しております。よろしくお願いいたします。

【委員】根戸小のコーディネーターをしております。よろしくお願いいたします。

【委員】布佐南小のコーディネーターをしております。

【委員】我孫子市子ども・子育て会議の委員ということから推薦されております。よろしくお願いいたします。

【委員】教育委員会指導課です。地域学校協働本部、昨年度の学校支援地域事業の形を変えて今年度からスタートした担当です。よろしくお願いいたします。

【委員】我孫子市の民生委員・児童委員協議会 児童部会から来ました、主任児童委員です。

【委員】我孫子市 PTA 連絡協議会に出しております、並木小学校 PTA会長をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

【委員】同じく PTA 連絡協議会から来させていただいております、高野山小の PTA 会長をしております。よろしくお願いいたします。

【委員】布佐南小学校から参りました。本来ですと校長が参加なんですけれども、代理で私教頭が参りました。よろしくお願いいたします。

【委員】並木小学校校長です。よろしくお願いいたします。

【委員】川村学園女子大准教授です。我孫子市が子育てが充実したまちになりますように、学童そしてあびっ子の運営がうまくできるように応援できたらと思ってます。よろしくお願いいたします。

【事務局】事務局の紹介させていただきます。子ども支援課放課後対策・青少年係課長補佐です。よろしくお願いいたします。

【事務局】子ども支援課主査です。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】子ども支援課主任です。よろしくお願いいたします。

【事務局】あと1人子ども支援課主任がおります。よろしくお願いいたします。

【コーディネーター】湖北台東小学校であびっ子クラブのコーディネーターをしております。よろしくお願いいたします。

【コーディネーター】湖北台西小でコーディネーターをしております。よろしくお願いいたします。

【コーディネーター】三小でコーディネーターをしております。よろしくお願いいたします。

【コーディネーター】二小でコーディネーターをしております。よろしくお願いいたします。

【委員長】はいありがとうございました。それでは皆さんよろしくお願いいたします。

### 3. 本委員会の任務及び令和4年度年間スケジュールについて

【委員長】放課後対策事業運営委員会の任務は、放課後対策事業運営委員会設置要綱に基づきまして、第2条第1号から第9号を任務とします、資料としては1-2になります。

- (1) 総合的な放課後対策事業の運営に関すること。
- (2) 総合的な放課後対策事業の検証及び評価に関すること。
- (3) 総合的な放課後対策事業の問題点等の分析及び改善方策の検討等に関すること。
- (4) 教育委員会と市長部局との具体的な連携方策に関すること。
- (5) 小学校の余裕教室等の活用方策と公表に関すること。
- (6) 活動プログラムの企画及び充実に関すること。
- (7) ボランティア等の地域の協力者の人材確保方策に関すること。
- (8) 安全管理方策に関すること。
- (9) 広報活動方策に関すること

皆様方からこれらのことについてご意見を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

次に令和4年度の年間スケジュールです。第2回は9月の下旬から10月の上旬、第3回は来年の2月と1年間に3回開会する予定となっております。第2回の開催日についてですが会の最後に現時点でのご都合をお聞きして日時を決めていきたいと思っております。お忙しいかとは思いますがどうぞよろしくお願ひいたします。

年間スケジュール等についてのご質問とかは、特にございますか。

(質問なし)

### 4. 我孫子市における放課後対策事業について

#### (1) 我孫子市における放課後対策事業について

【委員長】我孫子市における放課後対策事業について事務局より報告をお願いします。

【事務局】それでは説明させていただきます。本日この委員会が初めての方もいらっしゃると思いますので、この委員会で主体となる事業である学童保育とあびっ子クラブについて簡単にご説明させていただきます。

学童保育は保護者が就労や疾病等で、学校が終わった後、子どもの面倒を見られない場合に、保護者に代わって子どもを預かる施設です。市内13の小学校全てに学童保育室があります。学校が終わった放課後から午後7時まで開設しております。民間委託されている

学童保育室は夜7時半までお預かりしております。月曜日から土曜日開いてまして、土曜日は予約制で保育を実施しております。

あびっ子クラブは、「地域で子どもを育てる、子ども達が安全・安心に遊べる」ということを基本として、放課後、子ども達が安心して自由に過ごせる場所となっております。開室時間は放課後から午後5時まで、冬場の暗くなるのが早くなる11月から1月までは午後4時半まで開室しております。土曜日も開室しております。年に一度登録していれば、子ども達が自由に来て遊んだり、あるいは今回委員の方もいらっしゃいますが、地域のサポーターの方々と一緒に様々な体験ができる「チャレンジタイム」というのがございます。あびっ子クラブは子ども達が自由に来て自由に帰る、という形になりますので、学童保育室と違って預かる場所というわけではありません。

学童保育室とあびっ子クラブともに夏休み、冬休みといった長期休業中も開設しております。

続きまして、計画について概要をご説明させていただきます。本日皆様のお手元にある資料2-1第2次我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画をご覧ください。この行動計画は国の指針である新・放課後子ども総合プランに基づき、本市における学童保育室、あびっ子クラブの整備推進を定めた計画です。第1次の計画は平成27年から31年までの計画であり、今お手元にある第2次の計画は令和2年度から6年度までの5ヶ年計画となっております。

それでは、現計画の主だった内容をご説明させていただきます。計画では、学童保育室、あびっ子クラブの一体的な運営方針や将来目標を明記しており、放課後対策事業における行動計画を策定しております。

1ページ目をご覧ください。大きな2番、新・放課後子ども総合プランの特徴です。こちらは国が定めた大きな目標となっております。

次の2ページには、市町村行動計画等に盛り込むべき内容が示されています。我孫子市の計画についてもこれらについて記載がされています。

次の3ページ目には、計画の位置づけが示されています。本計画の上位計画として「子ども総合計画」が位置づけられており、現在は第四次我孫子市子ども総合計画がそれにあたります。

飛びまして6ページ目からの本論について、計画策定時の学童保育室とあびっ子クラブ両事業の現状と課題となっております。

飛びまして、15ページ目からは今後の事業展開が記載されていますので、後ほどお読みいただければと思います。

先ほどこちらの計画は第2次とお話をさせていただきましたが、第1次の計画には、施設整備等のハード面についても計画に盛り込んでいましたが、第2次策定時にこうした施設等ハード面の計画と行動計画を切り離し、別途個別施設計画として「我孫子市学童保育室・あびっ子クラブ長寿命化計画」を同時に策定しております。今回「我孫子市学童保育室・あびっ子クラブ長寿命化計画」の配布はしていませんが、市のホームページの方で公開されておりますので、お時間ある方はご一読いただければと思います。

続きまして昨年度、所管担当が行った事業について報告させていただきます。

最初にコロナ対策についてお話させていただきます。

おとし令和2年度はコロナ対策に追われた年でした。学童保育室の臨時閉室や学童保育料の減免、子ども、スタッフに感染者が出たときのPCR検査の実施と様々な対応をしました。昨年度令和3年度については、アルコール消毒や3密の回避、日常的な基本的な感染対策に努めました。感染者が全く出なかったというわけではありませんでしたが、大規模なクラスターの発生や、閉室はありませんでした（事務局追記：大規模な閉室は行いませんでしたが、夏休み期間にPCR検査実施のために1日ないしは数日閉室した学童保育室がありました）。また、感染対策としてあびっ子クラブにおけるサポーター活動を長い間中止させていただきました。実際、まん延防止等措置の発令等がありまして、中止期間が思ったより長引き、実際にサポーター活動が実施できたのが令和3年11月から年明けの1月までの3ヶ月間だけでした。

他にコロナ対策の一環として学童保育室・あびっ子クラブの床修繕を実施いたしました。あびっ子クラブの現場をご存じの方はわかると思いますが、あびっ子クラブの床にはタイルカーペットを敷き詰めてあります。子ども達が床で遊ぶときにクッション性や保温性を保つため、あびっ子クラブをオープンする時にはタイルカーペットを施工していました。タイルカーペットの床は起毛しているため、消毒のしづらさがあり、消毒液をふりかけても乾かずににおいが発生してしまったりし、衛生的にも問題がありました。そのためタイルカーペットを全部剥がし、通常の教室と同じような木タイル（スクールパーケット）に戻す工事を行いました。教室ではないところはカーペットを取り、クッション材を入れて長尺シートを敷き、消毒のしやすい床に全部換えました。こちらは令和2年12月の補正予算で予算を確保し、予算を繰り越しして令和3年度にすべて工事は完了しました。令和2年度は一小学童保育室とあびっ子クラブ、根戸小学童保育室第二第三、湖北台西小

あびっ子クラブの5ヶ所を施工しました。令和3年度は三小学童保育室とあびっ子クラブ、布佐南小学童保育室、四小・根戸小・並木小・二小・湖北台東小・湖北小のあびっ子クラブ以上9ヶ所を施工いたしました。

続きまして、並木小・湖北台西小・布佐小の空調機、エアコンの更新工事を行いました。この3ヶ所では他の保育室と比べて年数が経っており、スペックが低いために、感染対策のために換気を行うと、暑い時期の冷房の効きが悪かったり、寒い時期に部屋が暖まりにくくなってしまったりということがありました。換気による温度変化に対応しながら換気効率を向上させるためにエアコン自体を更新した工事です。こちらについても令和3年度末に3校とも工事は完了しています。

床修繕とエアコン更新の工事につきましては、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して事業を実施しました。

続きまして、eモニターについてお話をさせていただきます。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、eモニターとは市民の皆さんに、お手持ちのパソコンやスマートフォンからモニター登録していただき、インターネットを通じて市の事業についてアンケートにご回答いただくものです。令和3年10月に放課後対策事業、学童保育室とあびっ子クラブについてアンケートを行いました。こちらのアンケート結果は、資料2-2にお示ししていますが、同じ内容をホームページにも公開しています。

学童保育室とあびっ子クラブの知名度、満足度、小学生が放課後に過ごす場所等についてアンケートを実施しました。あびっ子クラブも市内小学校全てに設置していますので、知名度、満足度については概ね良好な回答をいただいたと思います。また個別意見ではかなり厳しいご意見もいただきました。いただいたご意見はスタッフ会議や民営業者とのミーティングで伝えまして、意見を真摯に受け止めて運営を行うように話をしたところです。放課後を過ごす場所については、想定していたよりも自宅で過ごす児童が多い印象があります。その他、学童保育料やあびっ子クラブの登録料についても、アンケートを取りました。直接的なものではありませんが、今後、この会議の中で学童保育室やあびっ子クラブの運用方法等を検討していくときの判断材料・検討材料になると思いますので、後ほど改めてご一読いただければと思います。

最後に二小、新木小の民営化についてです。

数年前の話になりますが、二小・新木小の学童保育室・あびっ子クラブは、「提案型公共サービス民営化制度」を活用して民営化しました。この制度というのは、市の事業全て

について、民間事業者が自分たちであればどういったサービスができるか、どういったことをよりよく向上できるかといったことを提案し、その内容が市民にとってプラスという判断があれば、市が行っている事業の委託民営化を進めていくという制度です。この制度によって令和元年から令和3年までの3年間、提案した事業者

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が運営することとなりました。この委託期間というのは3年間でしたので、この委託期間終了により、新たに受託する会社を決定するため、令和3年度に「公募型プロポーザル方式」で受託者を選定いたしました。

この選定には選定会、正確には「我孫子市放課後対策事業運営管理業務委託事業者選定委員会」を開催しました。この選定委員には事務局で携わる職員や学童保育室やあびっ子クラブの利用保護者の方も入っていただき、委員として判断していただきました。選定委員会での選定の結果、引き続きシダックスが今年度から3年間、事業を担うこととなりました。長くなりましたが、以上、昨年度の事業報告とさせていただきます。

**【委員長】**ありがとうございます。

今事務局から昨年度事業として大きく三つ、計画に沿った内容のものとeモニターの結果、あとは民間委託について説明がありました。掘り下げて聞いてみたいことや詳しく聞きたいという方がいらっしゃったら、ご意見ください。

(質問・意見なし)

## (2) 令和4年度の検討事項について

**【委員長】**事務局から(2)令和4年度検討事項について、「あびっ子クラブの閉室時間について」「あびっ子クラブの開室日」について説明があります。それでは事務局からお願いいたします。

**【事務局】**はい、ご説明させていただきます。まずあびっ子クラブの閉室時間についてです。こちらは資料3-1と3-2をご覧ください。

資料3-1は「令和3年度あびっ子クラブの登録人数」で、学校ごとに学年別の一覧になっております。資料3-2「あびっ子クラブの閉室時間」には今現在のあびっ子クラブの閉室時間を示しました。2月から10月までは午後5時に閉室です。11月から1月は日が落ちるのが早いので16時半となっています。資料3-2の下の方、「参考」とあるところですが、こちらには市ホームページから抜粋したチャイムが鳴る時間を示しました。11月から冬休みの終わりにかけては、チャイムの設定が16時でして、16時にチャイムが鳴ってはいるが、あびっ子クラブは16時半まで開室しているという状況です。

あびっ子クラブは先ほどご説明したように子ども達が自由に来て自由に帰宅しますので、スタッフからは日によってはかなり暗くなってしまっているところを帰すのは心配という意見があります。子どもの安全確保という目的のためのチャイムですので、16時にチャイムが鳴る時にはあびっ子クラブの閉室も16時にしたいと考えています。

こちらについて皆様のご意見をいただければと思っております。この運営委員会でご了承いただいた後は、あびっ子クラブに登録している方にまちcomiというメールシステムがありますので、閉室時間が早くなることについて事前にお知らせすることができると思っています。

続けて閉室日についてお話の方をさせていただきます。

細かい話になりますが、あびっ子クラブは利用されている皆さんからの登録料と補助金で運営を行っています。参考までに資料3-4の下に令和元年度から3年度のあびっ子クラブ運営にかかる総経費と補助金額、あびっ子クラブ登録料の年度別一覧を示しました。総経費というのが、あびっ子クラブを運営するのにかかった金額です。この金額に対して全額が補助金の補助対象になるというわけではなく、補助対象になる金額というのがその下の表の補助対象経費です。その補助対象経費のうち、千葉県学校家庭地域連携協力推進事業費補助金という実際に交付された補助金額が3番目の金額になります。その下はあびっ子クラブ登録料です。補助金と登録料を合わせた金額があびっ子クラブの歳入です。正直に申し上げましてかなりの赤字事業となっています。

あびっ子クラブ、正確には放課後子供教室事業ですが、我孫子市の場合は常設型、基本的に月曜日から土曜日、毎日開室という形をとっていますが、そちらの補助金の要綱では、年間活動日数が定められています。これまでは年間250日未満までは補助対象とし、それ以上は補助対象とならないということでしたが、令和5年度からは、この250日未満から200日以下に改正され、今まで249日が補助対象だったのが、200日分しか補助対象でなくなりました。結果として補助対象額がもっと減ってしまうということになります。事務局としては、運営の方法について見直さなければならないと考えています。様々なご意見はあるとは思いますが、手法の一つとして、あくまで案ですが、夏休み等長期休業中は利用人数が多いことから、長期休業中は通常通り開室とし、利用率の低い土曜日を閉室するという案が考えられます。資料3-3は土曜日の利用状況を示しています。学校によってかなりばらつきはありますが、平日に比べては利用率が低い状況にあります。他に、週何日開室、月何日開室というように定め、この補助金の補助対象日数の範囲内で収めたいと考えているところです。

このことに関しましては、この場ですぐに決めるのではなく、このような実情を委員のみなさまに課題として投げかけさせていただき、団体に属しての方であれば持ち帰って協議していただいて、第2回の運営委員会で協議できればと考えています。忌憚のないご意見をお願いいたします。以上です。

【委員長】ありがとうございます。それでは今事務局から説明ありましたが、まずはあびっ子クラブの閉室時間について、チャイムとの齟齬があるのはどうなのかという提案でしたが、これについて何かご意見ありますか。実際、防災無線で流してるチャイムについては、子ども達に対してこの時間には帰りなさいよというお知らせですが、あびっ子クラブがそれよりも遅い時間まで開けていることはいかがであろうかという意見が、実際子どもたちと関わってるスタッフからあがっていることもあり、閉室時間をチャイムと合わせたらどうだという事務局提案に対して、いかがでしょうか。実際子どもが利用している市PTA代表さんいかがですか、何か意見ございますか。

【委員】私も我が子が高野山小学校であびっ子クラブにも参加させていただいています。この閉室時間に関しまして僕はこれは「是」と思います。このご時世、何があるかわからず、夜遅くに帰るというのも怖いのでいいと僕は思っております。

【委員長】ありがとうございます。ではもう一人のPTA代表としてお越しいただいている委員さん、何かご意見ありましたら教えてください。

【委員】チャイムと一緒に帰らせるというのはすごくいい案だと思います。私は朝の見守り活動をやっていますが、課題として、放課後の見守りができる人というのがいないんです。時間の空いている方は帰りの見守り活動をしようということで自治会が動いてまして、ちょうどこの案件が次の自治会で話ができるなということで、ぜひチャイムに合わせて帰らせていただければと思います。

【委員長】ありがとうございます。

その他、何かご意見であったり、逆にもうちょっと長くあびっ子クラブを使ってほしい部分もある等の意見があればお聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。

それでは実際のあびっ子クラブに携わっていただいています委員さんお願いします。

【委員】はい。根戸小であびっ子クラブを運営していますが、子どもの安全安心の面から閉室時間を早めるっていうのはとてもいいことだとは思いますが、そうすると、今根戸小の場合は地域のサポーターさんがとても多く、地域のサポーターさんにチャレンジタイムを設けていただいますが、その活動が非常に制限されてきます。高学年の下校時刻は遅いので、チャレンジタイムに参加したいと来室しても、十分な時間が取れません。そこに

閉室が16時となってしまうと何の活動もできない状況になってしまうことが一つ懸念されると思います。あびっ子クラブを立ち上げたときに、地域のサポーターさんたちと一緒に子育てをしていきたいと思いますところからスタートしたような気がいたします。地域で今頑張ってくださっているサポーターさんの意欲も下がってしまうのではないかと心配しています。なのでチャイムに合わせた閉室ということは理解できますが、各クラブの実態に即したようにできないものか、いい考えがないものかというように思います。

ちょっとした時間、部活が終わって10分でも15分でもあびっ子に顔出して、居場所として一息ついて自宅に帰るっていうようなお子さんも中にはいらっしゃるんですね。こんな数分のためにわざわざあびっ子に来るんだというようにこちらは思うんですけども、でも子どもにとってみたらそれもリズムの一つで、すごくいいことではないかなっていうふうに思うんです。

なので一概に全室に適用となってしまうと今のサポーターさんのチャレンジの活動がすごく制限されてしまいますっていうことを訴えたいと思います。以上です。

**【委員長】**ありがとうございます。実際携わってる方からのご意見として貴重な意見だと感じました。ありがとうございます。その他に何かご意見ありますか？

(意見なし)

閉室時間についてはここまでとしまして、開室日数について、最終的には理事者との協議において判断していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それではあびっ子クラブの開室時間について先ほど資料3-3と3-4の説明しましたが、それについて何かご意見のある方いらっしゃいましたらご意見をお願いいたします。

(意見なし)

**【委員長】**こちらについては事務局から実情の説明させていただきました。意見の中にはお金ではないというものもあろうかと思えます。先ほど事務局が言いましたが、会を代表している皆さんですので、持ち帰って他役員の方にも聞いてみるなどで意見を集約させて次回の運営委員会でご回答いただけたらと思います。そのような形で意見については集約し、今後の運営に反映させていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは次に進みたいと思えます。

学童保育室・あびっ子クラブの民間委託について事務局より説明をお願いします。

【事務局】先ほどのあびっ子クラブの開室時間等へのご意見について、8月末ぐらいまでにメール等で子ども支援課へご連絡いただければと思います。いただいたご意見を取りまとめたものを、次回の運営委員会の開催通知発送時に一緒にお送りできればと思っていますので、よろしく願いいたします。

では、民営化についてお話をさせていただきます。学童保育事業ですが慢性的に人員が足りていないというのが現状です。令和3年度についてはほぼ1年を通して人員を募集していました。

このことは我孫子市だけに限った話ではなく、全国的に放課後児童支援員が不足しております。令和3年度末に令和4年4月から採用の募集をかけ、3人の応募がありましたが、うち2人が3月後半にキャンセルとなり、結果的に1人しか採用できなかったということがありました。ちょうど4月というのは春休みのスタート時期でございまして、学童は新一年生が入ってきて、一番学童保育室が慌ただしくなる時期でもあります。ですから、年度当初に補正予算の要求をしまして、派遣委託料を確保したところです。実際人手が足りないところは、人材派遣を活用して何とか事業を継続しようと思っているところです。ただ派遣だから集まるかというところも難しく、現在も辛うじて運営をしているところです。この状況では事業を継続していくこと自体がかなり難しいと判断し、来年度から民間委託する学校を増やすこととしました。継続的な費用が必要になってきますので、この6月議会で債務負担行為の設定をいたしました。

具体的には、令和5年度から3校委託する準備をしているところです。その3校というのは一小、布佐小、布佐南小の3校の学童保育室・あびっ子クラブの予定です。

実際に委託したあとは、そこにいる公営のスタッフには他の保育室へ異動していただいて、人員不足を解消するというように考えております。

現時点といたしましては各小学校の学童の父母会の会長とコンタクトをとり、事情を説明しているところです。併せて各保育室の保護者の方に、民間委託に当たって必要なサービスであったり、民間委託に関する疑問点等をちば電子申請サービスを使ってアンケートの方をとっているところです。こちらは今週末6月26日までとしていますので、取りまとめたのち、7月の中旬に各父母会でご説明をさせていただいていただく予定です。そのスケジュールを資料4で示しました。あくまで予定ですので、前後することはあるとは思いますが、先ほどお話しした選定委員会を行って、父母のご意見を取り入れながら民営化をしていこうと思っています。選定委員会開催の際には、市連協さんをお願いすること等もあると思いますので、その際はご協力お願いしたいと思います。

以上説明とさせていただきます。

【委員長】民間委託について今ご説明の通りでございます。先日予算に関する議会の特別委員会がございました。第一小学校、布佐小、布佐南小で来年度から委託したいという部分については、特別委員会の中では概ね認められましたので、このままスケジュールに基づいて具体的に進めていきます。12月から引き継ぎということで、引継ぎを丁寧に行うスケジュールリングで組んでいます。この民間委託についてご質問やご意見があれば、遠慮なくご意見をいただきたいんですけども。

【委員】もう既に民間委託されている学校というのはあるわけですよね。そこで民間委託する前と民間委託した後で、何かデメリットや問題点、質の低下等の報告はあるのですか？

【事務局】はい。現在、四小、根戸小、二小、三小、新木小の5校がもう既に民間委託しています。学童保育室については保育時間の延長や長期休業中のお弁当の仕出しサービスが付加されています。学童保育全体に対してご意見はありますが、民営だから、公営だからといったことでの大きなクレームは今のところありません。ただ、やはり事業者が変わりますので引継ぎ不足で話が通っていなかった部分はありました。それにつきましては丁寧に引継ぎをしていきたいと考えております。

【委員】事業者を選定するにあたって、今委託している事業者は1者ですか、複数者ですか。

【事務局】四小は「明日葉」が運営しております、その他の4校については「シダックス」が受託しております。

【委員】今後もその二者ということではなく、他の企業を交えてという形になるのでしょうか。

【事務局】はい。公募型プロポーザル方式といたしまして、私共の方で仕様書を作成して、企業等に投げかけ、応募を募ります。応募があった事業者を選定委員が点数づけして判断します。昨年二小、新木小で行いましたが、新木小には4社の応募がありました。

【委員】期間が3年ということですが、契約更新の判断は市がするのですか。それとも企業側が更新したいと言えば、自動で更新できてしまうのですか。

【事務局】委託期間の3年が終われば、再度公募型プロポーザルを行って決定することになります。

【委員】ありがとうございます。

【委員】先ほどのご説明の中で、引き継ぎというとスタッフが入れ替わるというお話だったと思うんですけども、確か以前の民営化というときには、関わっていたスタッフが残っていくような話だったと思うのですが。今民営化したところには、当時のスタッフがまだ残っているのかということと、今回は違うのかという点についてもう少しご説明いただけますか。

【事務局】以前は私どもの方から、現在勤務しているスタッフには、なるべく今の学童保育室に残って欲しいという話をさせていただきました。現在も既に民営化されたところに、当時のスタッフが残っています。ただ、今回の民営化の理由が人員不足でありますので、他の公営で働いてほしいというところです。

【委員】そこにいらっしゃったスタッフの皆さんを別のあびっ子（公営施設）に移して、そこを充実させようということですが、この引き継ぎというのはスタッフさんが徐々に顔を見せ、顔を繋げた形で入ってくるという意味ですか。それとも、ただ事務的なものの引き継ぎという意味ですか。

【事務局】12月から3月までの引き継ぎ期間は公営ですので、公営が事業を行っている間に契約をし、民間にも現場に入ってもらって一緒に保育をして慣れていただくという形になります。

【委員】わかりました。

【委員長】他にご意見ございますか。

（意見なし）

## 5. 学童保育室・あびっ子クラブの運営報告について

【委員長】まずは我孫子第二小学校の近況について報告をお願いいたします。

【コーディネーター】二小学童の話をさせていただきます。今年4月新入生が思いのほか多く、1年生36人、全員で70名近い子ども達で始まりました。1年生の出席率はとても良く、毎日55人前後の子ども達が登室しています。6時過ぎますと10人前後の子ども達が残っていて、お迎えを待っています。学校から帰ってくると、入り口でスタッフが検温と手の消毒、それから出席確認と連絡帳の提出を促す声掛けをしています。毎日の下校後30分ぐらいがとても忙しい時間になります。

おやつの時もエピペンを持っているお子さんがいらっしゃいますので、アレルギーには注意しながらやっております。

子ども達には、お家の人はお仕事をしてお仕事をして、あなたたちはここで迎えまで待っていて家族で協力し合っているんだよ。家族みんなが頑張っているから、ここで仲良く楽しく過ごすことを頑張ろうねと話しています。

あびっ子クラブの方は昨年並みの登録人数です。2年前に新型コロナが流行し始めた年は登録人数がぐっと減りました。いつも来ていたお子さん達にお声掛けしたところ、「『コロナがあるから、今年は登録しないよ』ってうちのの人に言われた」というお返事でした。

あびっ子クラブの高学年の登録人数はかなり少ないです。放課後の時間が短いので遊びに来れないという事情がありますが、5、6年生で10人ぐらいしか登録していません。その中でたまに学校の帰りに、気分転換に寄ったり、夏はちょっと涼んで帰ったりするお子さん達がいます。

サポーターの人たちも一生懸命やったださってチャレンジタイムが再開した時には、皆さん喜んで来てくださっています。今年は1年生が多く、チャレンジのときの人数がかなり多いんですね。密にならないように、学童保育室利用のお子さんがチャレンジに参加する場合には、学童と連絡を取って、人数調整をしながらやっています。この前、工作教室のときは53人ぐらいのお子さんが参加しました。バルーンアートも子ども達に人気のチャレンジですが、その時は66人ぐらい参加しました。簡単なバルーンだったので、私達もお手伝いしながらできました。けれどもやはり密にしないというのはとても難しく、一つしかない部屋の中でチャレンジに参加する子と参加しない子も一緒に過ごすため、調整に苦慮しています。あびっ子の場合はだんだん同じメンバーが来るようになります。ですから、その子達とは親しくなり、半分学童のような雰囲気です。私達スタッフは、子ども達に安全で怪我なく、楽しく過ごせるように頑張っていこうねといつも話しております。

学校の先生方にも本当にご迷惑かけることも多いですが、温かく見守ってくださり、あびっ子の子どもも学童の子どもも二小の子どもなんですよと言ってくれるのがとてもありがたいです。

以上です。ありがとうございます。

**【委員長】** はい、ありがとうございます。今二小の報告をいただきましたけど、聞いてみたいこと、確認したいことがありましたら挙手の上、お聞きください。

**【委員】** すいません、教えていただきたいんですけども、チャレンジタイムで使うバルーンアートのバルーンの使用料等はこういった形で検出されているのでしょうか。

【コーディネーター】二小の場合はシダックス運営ですので、材料費に関してはシダックスに請求しております。大きな備品は子ども支援課に購入してもらってます。

【委員】ありがとうございます。金銭的な部分で、市もやっぱり財政難というか。私自身が7月から地域奉仕団体の会長になります。団体の一つの方針として、青少年の育成だったりとか毎年新一年生にランドセルカバーを提供させていただいておりますので、あびっ子クラブへの寄付であったり、バルーンの提供だったりできれば、なおいいのかなと思って話を聞いておりました。ありがとうございます。

【委員長】ありがとうございます。他にございますか。

(質問・意見なし)

それでは今度は我孫子第三小学校の近況についてご報告をお願いいたします。

【コーディネーター】三小学童保育室・あびっ子クラブは市より業務委託を請け負い、私達シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が運営を始めて今年で5年目になります。

学童保育室は156名在籍しておりまして、四つのグループ、クラスにわかれて保育をしています。学校から5分ほど離れた場所に三つのグループ、もう一つは校内にあびっ子クラブと隣同士で保育室があります。元々は離れた場所にある保育室で、大きな二つのクラスでした。利用人数が増え、コロナが発生するという状況の中で、あびっ子クラブの一つの部屋を利用して、もうひとクラス学童を作りました。今は四つのグループということになっています。

大きな部屋でたくさんの人数がいるというのは、私達スタッフ側からすると目が行き届かなかったり、把握することが難しくなりましたので、クラスを増やして人数を分けたことで子ども達も落ち着いて過ごせるようになり、よかったかなと思っております。

夏休みの短期利用者が今年も多く、密になることは避けられないため、あびっ子クラブを上手に活用して、長い夏休みを楽しく過ごそうと考えています。

あびっ子クラブでいろいろな工作、映写会やスライム作りなど、行事を提案しまして、学童の子が分散して遊べるよう計画中です。あびっ子クラブの方は今年度373名の登録があります。1年生を中心に平日平均40名くらいの子も達が遊びに来ています。

地域のサポーターさんによるチャレンジ活動、三小は茶道ですとか、囲碁、工作、ショートテニスが5月から再開しまして、子ども達が楽しみにしております。

また寄付により、大型ブロック、ままごとのキッチンなどが増えて遊びが広がっているところ です。

学童・あびっ子とともにコロナ感染症対策として、子ども達の手指消毒や検温、手洗いの徹底やおもちゃなども消毒したりしています。安全面に気をつけて、安心して楽しく子ども達が過ごせるようにこれからも努めていきたいと考えております。以上です。

【委員長】はい、ありがとうございます。三小の報告がありました聞いてみたいことがあれば挙手をお願いします。

(質問なし)

ないようですので、続いて湖北台西小学校の近況についてのご報告をお願いいたします。

【コーディネーター】西小の学童・あびっ子クラブの様子をお話します。

まず学童の様子です。現在25人24世帯、1年生11人、2年生9人、3年生0人、4年生5人です。西小は比較的広い保育室で毎日20人前後の登室があります。おやつやお弁当は座卓に2人ずつ座っています。毎日の石鹸での手洗い、検温、マスクの着用、換気、消毒に気をつけております。今子ども達に人気の遊びは、市販やスタッフ手作りのドールハウスで男女ともごっこ遊びをしております。ぬり絵も人気で、アニメやゲームのキャラクターなどいろんな種類の中から選んで塗ってしております。保育室の目の前が校庭ということもあり外遊びが大好きで、時間になるとほとんどの子ども達が出て行きます。ドッジボール、サッカー、鬼ごっこ、虫取りなどをしております。昨年から大きな壁を利用して、壁画制作をしております。テーマを決め、自由に絵を書いたり、折り紙を貼ったりして大作ができております。

4月の入学式後に保育室に入れなかった1年生がおりました。学校のことでいっぱいだったみたいです。保護者と話をして4月は学童を休みにして、その間に保護者、学校の先生とも話し合いました。その中でプラレールが好きだとわかり、あびっ子クラブにと地域の方からいただいたプラレールを、学童保育室の方へ用意して5月を迎えました。学校での生活にも慣れて、5月からは学童にも登室できるようになり、今はお気に入りのプラレールで遊んだりして、落ち着いて過ごせています。

あびっ子クラブは現在123人の登録です。6年生1人、5年生3人と少ないのですが、1年生は全員、2年生もほぼ全員登録しております。毎日の利用も1年生が20人前後、そこに2年生以上が加わり、30人前後の利用があります。室内ではレゴブロック、ぬり絵、ままごと、キラキラカード作り、宿題をする子もいます。

5月からサポーターさんによるチャレンジも再開しました。けん玉、工作、バルーンアートに加え、今年度から習字が始まりました。5月は2年生以上で行い、15人の参加がありました。初めて習字をした子どももいて、嬉しそうに自分の書いたものを持って帰りました。あびっ子に来る子ども達も外遊びが大好きで、学童の子ども達と一緒に遊んでいます。

これから夏に向けて暑さ対策が大事になってきます。水筒のお茶がなくなったり、そもそも持ってきていない子どもいるので、お便りなどで伝えていこうと思います。

学校の先生方も、学童・あびっ子クラブともよく気にかけてくれています。スタッフのミーティングに、ことばの教室の先生方も参加していただき、気になる子ども達の情報共有を行っております。以上です。

【委員長】はいありがとうございます。湖北台西小について何か聞いてみたいことがあれば。

(質問なし)

はいそれでは続きまして湖北台東小学校の近況についてご報告願います。

【コーディネーター】湖北台東小の学童とあびっ子の様子をお話させていただきます。

学童の方ですが、去年は人数がひと桁になってしまうのではないかといいくらい減ったのですが、今年は20人の在籍があり17世帯です。夏休み生を入れますと7月14日から24名で始まります。今年の1年生はとても元気な子が多く、1人加配がついているお子さんもいて、最初は本当に学童が落ち着かない状況でしたが、上級生の4年生の女の子がとてもよく面倒見てくれるようになり、みんながその子のことを学童の一員として見てくれるようになって、とても落ち着いてきました。その子はぬり絵がすごく上手で、私達も感心するほどの色使いで、とても綺麗に仕上げていることを褒めたり、みんながとてもよく遊んでくれたりしているので、今学童が良い状況になってきているなと思っています。その他にも一年生でちょっと目が離せない男の子もおりますが、楽しくしております。

今一番レゴが人気で男の子はレゴの部品の奪い合いが起きるんですけども、そこはスタッフが入って次は貸してあげようねとか今度順番でやろうねとか、なだめながらうまくやっております。外遊びも大好きであびっ子も学童の外遊びの時間に合わせて一緒に出て校庭で思いっきり遊んでおります。

おやつや登室時には、検温や消毒などコロナ対策は一生懸命行っております。部屋の消毒などもスタッフが一丸となって行っております。

あびっ子ですが今年度は東小の1・2年生がひとクラスになってしまって、全校児童も少し減ってしまいました（全校児童240人）。昨年は全校児童のうち、半数ぐらいの子が登録してくれたのですが、今年は半数まではいかず、約100名の子が登録しております。特に5、6年生が非常に減ってしまいました。6年生はとても忙しいので遊びには来ないのですが、あびっ子をのぞいてペアの1年生を見てくれたり、手を振って帰っていったりしてくれています。やはり高学年になると、忙しくて来れないと話す子が多くなります。1年生から3年生まではほぼ登録してしまっていて、毎日とてもにぎやかに過ごしています。支援級のお子さんも利用が多く、目が離せないこともありますけど、だんだん慣れてきて、好きな遊び等がわかってきましたので、スタッフが対応してその子が1日楽しく過ごせるようにしております。

以上、簡単ですが報告といたします。

**【委員長】** ありがとうございます。東小の近況について何か聞きたいことがございましたら挙手してください。

**【委員】** 民間委託のことでよろしいですかね。

二小も三小も民間委託になっているんですね。湖北地区公民館もプロポーザル方式による民間委託、指定管理者制度によって運営していますが、一般競争入札による選定となると運営ノウハウが十分ではない、安価な企業が落札してしまうことがあります。民間委託にあたっては会社の業績とか実績を鑑みて選定することが重要であると思っています。民間の会社にとっても人材を確保することは大変です。一般競争入札のように金額だけで決めようと思うと、安かろう悪かろうということが十分考えられてしまうので、プロポーザル方式でどの点を大事にするのかという部分を含めて市には手厚く見守っていただければと思います。意見です。

**【委員長】** 貴重な意見ありがとうございます。事務局の方は肝に銘じて準備していきたいと思います。その他何かご意見ありますか。

（意見なし）

## 6. その他

**【委員長】** 次回の委員会の開催ですが、9月28日、10月3日、10月4日いずれかで開催したいと考えております。本日ご出席いただいている委員の皆さんにご都合をお伺いします。9月28日ご都合悪い方はいらっしゃいますか。では10月3日ご都合が悪い方は。では10月4日ご都合悪い方は。はい、ありがとうございます。

今確認させていただいたところ、28日が2人、3日については3人、10月4日は1人でしたので、ご都合がつかない委員の方には申し訳ありませんが、一番少なかった10月4日火曜日の開催ということで準備を進めさせてもらってよろしいでしょうか？

【委員】はい。

【委員長】次回については10月4日火曜日に開催いたします。時間場所については後日事務局より、郵送でお知らせさせていただきます。

ここまで全体通して委員の皆様から何かお話等ございましたら、時間を設けますので挙手の上ご発言ください。何かございますか。

(意見なし)

また後ほど議題の提案などありましたら事務局までご連絡ください。

長時間にわたりましてありがとうございました。

これもちまして第1回放課後対策事業運営委員会を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。